

平成17年度

地域共同テクノセンター事業活動報告

報告項目

平成17年度活動の結果と点検評価

1. 新たな活動

- 1) 2005サイエンススクエア
- 2) 木更津市アーカイブ画像撮影
- 3) 理数大好きモデル地域事業
- 4) 電源地域における雇用推進対策調査事業
- 5) 技術振興交流会ホームページの立ち上げ
- 6) 電子顕微鏡室設備公開の準備

2. 継承した事業活動

- 1) 木更津高専技術振興交流会への協力事業
- 2) 技術相談事業
- 3) 研究・試験事業
- 4) 研究・技術成果公開・出展に関する事業
- 5) 生涯学習事業
- 6) 講演講師派遣事業
- 7) 広報事業
- 8) 審議委員等の派遣事業
- 9) 交流事業
- 10) その他

3. 実現したい活動等

- 1) 事業を推進・持続できるシステムの構築
- 2) 運営資金を確保できる事業の検討

運営委員会の実績

運営委員会委員と事務部担当

木更津工業高等専門学校

地域共同テクノセンター運営委員会

平成17年度活動の結果と点検評価

1. 新たな活動

- 1) 2005サイエンススクエア：高専機構本部より依頼を受け、関東地区5高専（木更津、東京、茨城、小山、群馬）が国立科学博物館に協力し、8月16日（火）より8月28日（日）の2週間に亘り実施した。事前の4月27日（水）、6月22日（水）、8月3日（水）に協力者会議を行い、本校が幹事校として計画を取りまとめた。東京上野博物館の会場は3ブースあり、本校が2週間連続、他の4高専が一週間で分担した。終了後、各高専において総括を行い、高専機構および国立博物館に実施報告を提出した。（各機関担当者名簿、実施内容および実施報告については資料1を参照）
- 2) 木更津市アーカイブ画像撮影：木更津市役所企画政策部の依頼により、木更津港祭りと花火大会のアーカイブ・ハイビジョン画像の撮影に協力した。本校と城西国際大学の学生ボランティアおよび本校卒業生14名を募集し、事前にハイビジョン撮影方法について城西国際大学メディア学部長袁福之教授より指導を受けた。撮影日時は8月14日（日）17時から20時の港祭りと翌日15日（月）19時から21時の花火大会で実施した。この撮影画像の一部は木更津市のホームページにおいて公開された。なお、無料奉仕であったので、終了後本校に戻った学生と卒業生には当日22時より1時まで慰労会を行った。
- 3) 理数大好きモデル地域事業：教育委員会と木更津地区の教育機関が協力し、文部科学省の補助金を受け実施した。具体的には、以下のような出前授業を行い、中学校と連携して授業の活性化を図った。
 - 10月29日 木更津太田中学校1年生110名 「ゲルマラジオの製作」
 - 10月31日 太田中学校3年 4クラス「君にも作れる光通信」
 - 11月7日 木更津第二中学校3年 選択授業1クラス「君にも作れる光通信」本事業は3カ年計画のため、平成18年度も引き続き、中学校と連携して理科・数学の授業を展開する予定である。
- 4) 電源地域における雇用促進対策調査事業：千葉県が経済産業省の補助金を受けて実施した事業であり、本校に協力の依頼があった。

本事業は、千葉県の産業振興センターが中心になって、木更津地域の中小企業若手技術者のレベルアップのための事業展開の必要性について、調査を行った。ここ数年で熟練技術者が大量に定年を迎えるにあたり、若手技術者への技術伝承に支障をきたす可能性がある。この部分を補完するために、高専を中心とした教育機関の技術者教育を利用するとすれば中小企業に重要があるかどうかについて調査するものであった。調査は、中小企業へのアンケートと訪問調査、加えて従業員と雇用者からの意見交換会をおこなった。調査の結果多くの意見を頂いたが、需要が少数で多岐に亘っており、中小企業全体の需要をまとめきれなかった。
- 5) 技術振興交流会ホームページの立ち上げ：木更津高専技術振興交流会役員会において事務局である本校がホームページの立ち上げを提案し、knct-koryu.jpを立ち上げた。サーバは交流会経費によるレンタルとし、ホームページのソフトは大澤副センター長が作成し、これを構築した。完成後、学内の分科会委員長に対する説明会を実施し、活用の協力をお願いした。また、第4回テクノフォーラムにおいて概要の説明を行い、このITを活用した交流会会員の勧誘と登録を宣伝した。

6)電子顕微鏡室設備公開の準備:電子顕微鏡室がテクノセンターの施設となった平成16年度より要求してきたX線回折装置の設備更新の予算が3000万円認められた。仕様書の策定はテクノセンター長の小平が、技術審査は電子顕微鏡室担当の岡本が行い、最新の設備としてパナリティカル社製の装置が年度末3月に納入された。

・点検評価:

想定外の外部要請の事業が多く、多忙な年度であったが、教職員の創造的な協力と学生の献身的なボランティアにより遂行でき、多大な成果が得られた。

大半の事業が次年度にも実施されることになるが、今年度以外の協力者の参加が望まれる。

X線回折装置の更新により、電子顕微鏡と共に地域に公開できるテクノセンター設備が現実的なものとなり、外部評価の問題点を解決できた。

今後、テクノセンター所属の設備を地域へ公開するための規則の制定が必要となる。

2. 継承した事業活動

1) 木更津高専技術振興交流会への協力

(1) テクノフォーラム:今年2回開催された。第3回は学内委員の鈴木聡、佐藤、板垣と学外委員の渡辺、鶴岡が担当し、平成16年9月27日(火)に開催された。第4回は学内委員の鈴木聡、佐藤、大澤と学外委員の渡辺、鶴岡が担当し、開催日は平成17年3月14日(火)であった。2回とも108名の参加者で、熱心に受講されていた。

(2) 技術振興交流会分科会:委員長会議が2回開催された。第1回は6月9日(木)、第2回は12月22日(木)に行った。また、14の分科会が以下のように延べ43回実施され、参加延べ人数は700人以上であった。なお、分科会委員長は本校教員が担当しており、内容については、各分科会の議事要旨に纏められている。

平成17年度技術振興交流会分科会実施状況

| | 分科会名 ・キーワード | 委員長 | 実施年月日 |
|---|--|-----------------------------|---|
| 1 | 環境管理技術 ・木炭・活性炭・廃棄物 ・バイオマス・循環型社会 ・生態環境・環境経済評価 | 委員長 高橋克夫 副委員長 古山哲也 | 第1回2005年6月17日(金)講演会 第2回2005年8月19日(金) 第3回2005年11月25日(金) 第4回2006年3月13日(月)講演会 |
| 2 | 医療・福祉機器 ・医療・健康機器・福祉機器 ・カイロプラクティック分野 (重心動揺、短下肢、側彎、骨盤の捻れ、筋力バランス等) | 委員長 大藤晃義 副委員長 飯吉裕樹 | 第1回2005年9月26日(月) 第2回2006年2月10日(金) 第3回2006年2月22日(水) |
| 3 | 教材開発 ・教材開発 | 委員長 高橋邦夫 副委員長 小川博久 | 第1回2005年5月13日(金) 第2回2005年7月7日(水) 第3回2005年10月21日(金) 第4回2006年1月26日(木) |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 4 | 光応用技術 ・光計測 ・レーザ ・発光ダイオード | 委員長 岡 本 保 副委員長 小 林 智 | 第1回2005年6月10日(金) 第2回2006年1月27日(金) |
| 5 | 社会基盤のメンテナンス ・コンクリート構造物の劣化診断 や補修・補強 | 委員長 黒 川 章 二 副委員長 大曾根 友 三 | 第1回2005年7月8日(金) |
| 6 | ロボット・自動化 ・ロボットの設計や制御技術 ・計測、制御技術 ・F A、工場自動化技術 | 委員長 鴫 田 正 俊 副委員長 丸 昌 利 | 第1回2005年7月20日(水) |
| 7 | 通信・アンテナ ・移動体アンテナ ・ミリ波機器 ・ネットワークアナライザ | 委員長 石 井 孝 一 副委員長 鈴木善幸 | 第1回2005年6月15日(水) 第2回2005年9月14日(水) 第3回2006年2月1日(水) |
| 8 | 画像情報 ・三次元情報計測 ・不可視情報の画像化 ・人工現実感、遠隔制御 ・神経難病等のコミュニケーション支援 ・パターン認識、視覚心理 ・医療画像診断 | 委員長 栗 本 育三郎 副委員長 野 口 義 信 斉 藤 康 之 | 第1回2005年6月22日(水) 第2回2005年12月9日(金) 第3回2006年2月10日(金) 第4回2006年3月31日(金) |
| 9 | 機械・制御系 ・機械要素、・材料試験 ・機構設計と制御・振動 ・流れ計測とシミュレーション・エネルギー ・レーザ計測とレーザ加工・試作 | 委員長 黒 田 孝 春 副委員長 橋 本 郁 男 | 第1回2005年5月18日(水) |
| 10 | 電子・電気系 ・電子回路、・磁気応用・センサ、 ・コンピュータ・自然エネルギー利用 | 委員長 大 澤 寛 副委員長 在 原 亀 次 郎 | 第1回2005年10月18日(火) 第2回2006年1月27日(金)講演会 |
| 11 | 情報系 ・コンピュータシミュレーション ・情報通信システム ・計測システムとインターフェース ・ニューラルネットワーク外信号処理 ・情報数理の基礎 ・並列プログラミング | 委員長 天 摩 勝 洋 副委員長 山 下 順 一 増 田 重 史 | 第1回2005年7月6日(水) 第2回2005年9月7日(水)講演会 第3回2005年11月9日(水) 第4回2006年1月18日(水) 第5回2006年3月8日(水)講演会 |
| 12 | 環境・土木系 ・ウォーキングと路面舗装 ・鋼・コンクリート・地盤などの構造系 ・環境空間デザイン・環境材料 | 委員長 佐 藤 恒 明 副委員長 斉 藤 喜 輝 | 第1回2005年5月27日(金) 第2回2005年10月7日(金) 第3回2006年3月13日(月)講演会 |
| 13 | 自動車リサイクル技術 ・フロントガラスの除去 | 委員長 高 橋 秀 雄 副委員長 井 上 光 信 | 第1回2005年11月29日(火) |

| | | | |
|----|--|------------------------------|---|
| 14 | 異業種融合 ・有機材料・複合材料 ・伝統文化・工芸 ・エネルギー技術 ・資源リサイクル技術 ・水産・農林系基盤技術 ・生活工学 | 委員長 テクノセンター長 | 第1回 2005年4月28日(木) 第2回 2005年5月26日(木) 第3回 2005年6月30日(木) 第4回 2005年7月28日(木) 第5回 2005年10月27日(木) 第6回 2005年11月24日(木) 第7回 2006年1月26日(木) 第8回 2006年2月23日(木) 第9回 2006年3月30日(木) |
| | | 副委員長 渡辺 徳 石出 忠輝 | |

・点検評価：

テクノファームは計画通り、年2回の開催となった。

分科会は、最低年2回の開催であるが、四つの分科会が1回の開催となり、資金運用の効率の観点から、統合・新設の検討が必要である。

交流会の発展と、会員発掘において新たな対策の検討が必要である。

2) 技術相談事業

(1) 本校における技術相談： 13 (佐藤) 件 (16年度 14件、15年度 5件)

(2) 東葛テクノプラザでの技術相談： 0 件 (16年度 0件、15年度 2件)

例年通り夏季と春季休業中に2回実施し、相談員数10名(15年度 11名、14年度 12名)を派遣した。以下に実施一覧を示す。

平成17年度8月期木更津高専技術相談 (東葛テクノプラザ3F技術支援室)

| 相談日時 | 担当教員名 | 専門分野 |
|---------------------------|---------------------|---|
| 8月8日(月) 11:00 - 15:00 | 電気電子工学科 熊谷 勝彦 教授 | <ul style="list-style-type: none"> 画像処理 ヒューマンインタフェイス 風力の効率的利用法 |
| 8月9日(火) 11:00 - 15:00 | 環境都市工学科 大木 正喜 教授 | <ul style="list-style-type: none"> 測量学 リモートセンシング |
| 8月19日(金) 11:00 - 15:00 | 機械工学科 林田 和弘 助手 | <ul style="list-style-type: none"> 燃焼工学 レーザ応用計測 微粒化学 |
| 8月25日(水) 11:00 - 15:00 | 基礎学系 吉井 文子 助教授 | <ul style="list-style-type: none"> 香料化学 計算化学 |
| | 電子制御工学科 坂元 周作 助手 | <ul style="list-style-type: none"> 超伝導工学 計測工学 |

平成17年度3月期木更津高専技術相談 (東葛テクノプラザ3F技術支援室)

| 相談日時 | 担当教員名 | 専門分野 |
|---------------------------|---------------------|--|
| 3月17日(金) 11:00 - 15:00 | 電子制御工学科 鴫田 正俊 教授 | <ul style="list-style-type: none"> 自動制御 ロボット |
| | 基礎学系 山下 哲 助教授 | <ul style="list-style-type: none"> 数学 |

| | | |
|---------------------------|----------------------|----------------------------|
| 3月22日(水) 11:00 - 15:00 | 機械工学科 黄野 銀介 助手 | ・ 機械材料 ・ 精密加工 |
| | 環境都市工学科 鬼塚 信弘 助教授 | ・ 地盤工学 ・ 地震工学 ・ 地質工学 |

・点検評価:

全体では相談件数は昨年度より1件減少した。

東葛テクノプラザでの技術相談は年々減少し、今年も0件であった。

東葛テクノプラザでの技術相談を充実できるような形態を検討する必要がある。

3) 研究・試験事業

共同研究、受託研究、奨学寄付金および受託試験について、平成14年度からの実績を次の表に示す。共同研究は年々増加し、本年度は9件となった。受託研究も3件、受託試験も57件と、両者ともに増加した。その一方で、奨学寄付金の件数はやや減少した。

(単位 千円)

| 年度 | 平成14年度 | | 平成15年度 | | 平成16年度 | | 平成17年度 | |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 共同研究 | 1 | 2,000 | 3 | 5,600 | 7 | 10,230 | 9 | 13,610 |
| 受託研究 | 0 | 0 | 2 | 1,250 | 1 | 105 | 3 | 1,618 |
| 奨学寄付金 | 16 | 11,563 | 16 | 9,180 | 20 | 12,930 | 18 | 10,900 |
| 受託試験 | 32 | 353 | 68 | 636 | 23 | 152 | 57 | 125 |

また、参考として、科学研究費補助金採択状況を以下の表に示す。昨年度より1件減少し、7件であったが、合計金額は増加した。

(単位 千円)

| 年度 | 基盤B | | 基盤C | | 奨励A | | 奨励B | 若手B | | 合計 | |
|--------|-----|----|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|----|-------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 平成14年度 | | | 4 | 5,100 | | | | 2 | 1,900 | 6 | 7,000 |
| 平成15年度 | | | 3 | 2,500 | | | | 4 | 5,400 | 7 | 7,900 |
| 平成16年度 | | | 3 | 2,000 | | | | 5 | 3,900 | 8 | 5,900 |
| 平成17年度 | | | 2 | 1,300 | 2 | 1,440 | | 3 | 3,400 | 7 | 6,140 |

・点検評価:

奨学寄付金以外は件数が順調に伸び、共同研究と受託研究の金額も増加しており、望ましい傾向である。

受託試験は件数が倍増しているが、金額が減少しており、コストの検討が必要である。

4) 研究・技術成果公開・出展に関する事業

(1) 全国高専テクノフォーラム: 出展、8月22日(月) - 8月24日(水)

(2) 第7回火星ローバーコンテスト in 千葉: 出展、10月29日(土)

(3) 第3回テクノフォーラム: 研究・技術成果公開、9月27日(火)

(4) 第4回テクノフォーラム: 研究・技術成果公開、3月14日(火)

・点検評価:

昨年度と同じ件数であった。

例年実施されている千葉大学オープンリサーチへの積極的な参加が望まれる。

5) 生涯学習事業

(1) 本校主催講座等：公開講座 テーマ数 7件、オープンセミナー テーマ数 19件
(16年度 14件、15年度 15件、14年度 10件)

昨年度までの公開講座は有料と無料のものが混在していたが、今年度からは機構本部の方針に基づき、公開講座は原則として有料とし、無料のものをオープンセミナーと称することにした。以下に本年度開催した公開講座およびオープンセミナーの一覧を示した。表の受講者数の欄は分母が募集定員であり分子が実際の受講者人数である。終了後の受講者に対するアンケートにおいて、公開講座は100%、オープンセミナーでは91%の満足度であった。また、今後開いて欲しい公開講座のテーマ名として、ホームページ、エクセルVBA、Visual Basic、CG講座、プログラミング、Webセキュリティの構築、スパイウェア、TCP/IP講習等であり、大半がIT関係であった。一方、オープンセミナーの要望テーマ名としては、テニス、卓球、バドミントン、溶接、eメール、HP作成入門、プログ入門、マクロ計算、スライムづくり、英会話、筋力トレーニング、建物耐震補強について、環境問題に関するセミナー、子供の成長と背骨の関係、ボランティア関係、英作文、英検受験対策セミナー等であった。

| 公開講座名 | 担当者 | 対象 | 開催日 | 受講者数 |
|---------------------------------|-------|---------|---------|-------|
| webカメラを用いた静止画配信技法【第1回】 | 大橋 | 高校生以上 | 5/21 | 2/10 |
| 中学3年生のためのタッチタイピング 4時間で完全マスター | 佐藤 | 中学3年生 | 7/24 | 3/5 |
| PCの自作講座 ~入門編~ | 高上 | 中学3年生以上 | 7/26~27 | 4/6 |
| 移動ロボット製作教室 | 鈴木(聡) | 中学生 | 7/26~28 | 17/25 |
| Pov-RayによるCG作成入門 | 斉藤 | 小学高学年以上 | 8/6 | 1/20 |
| 土木技術者のためのExcel入門 | 高橋(克) | 一般社会人 | 8/6~7 | 1/20 |
| webカメラを用いた静止画配信技法【第2回】 | 大橋 | 高校生以上 | 10/22 | 2/10 |

| オープンセミナーのテーマ名 | 担当者 | 対象 | 開催日 | 受講者数 |
|------------------------------|-----|------------------|--------|-------|
| パソコンで遊ぼう ~初心者のためのパソコン教室~ | 金井 | 中学生以上 パソコン初心者 | 5/25 | 30/20 |
| ウェルネスセミナー 誰よりも速く走ろう!(第1回) | 坂田 | 中学生 | 6/11 | 14/20 |
| ウェルネスセミナー 柔道ってどんなもの | 清野 | 小学生以下 | 7/3 | 13/20 |
| パソコンによるプレート彫刻 | 湯田 | 中学生以上 | 7/16 | 6/10 |
| 牛乳パックで橋づくり(第1回) | 佐藤 | 小学生3~5年 | 7/21 | 4/5 |
| 牛乳パックで橋づくり(第2回) | 佐藤 | 小学生3~5年 | 7/22 | 4/5 |
| IT講習会 | 小林 | 小学5年生以上 | 7/26 | 14/30 |
| 英語リスニング講座 | 中村 | 中学生以上 | 8/8~10 | 10/25 |
| 背骨と健康 (カイロプラクティックの立場から) | 大藤 | 中学生以上 | 8/21 | 25/30 |
| 青少年のためのおもしろサイエンス (第1回) | 田村 | 小4~中学生 | 8/24 | 46/40 |
| サンドブラストアート | 大橋 | 中学生以上 | 8/24 | 11/10 |

| | | | | |
|------------------------------|----|------------------|-----------------|-------|
| 地震が起こった時、あなたならどうする？ | 鬼塚 | 中学生以上 | 8/28 | 9/100 |
| エレキギターを作ろう！！ | 飯田 | 小学高学年・中学生 | 10/1 | 7/10 |
| ウェルネスセミナー ジュニアバレーボール教室 | 篠村 | 小学生中高学年 | 9/10, 10/1・8 | 50/30 |
| ウェルネスセミナー スポーツテストで体力診断 | 篠村 | 65歳未満の成人 | 10/15 | 16/40 |
| パソコンで年賀状を作ろう | 金井 | 中学生以上 パソコン初心者 | 10/23 | 13/20 |
| 青少年のためのおもしろサイエンス (第2回) | 田村 | 小4～中学生 | 10/30 | 42/40 |
| 鑄造でメダルを作ろう | 小林 | 中学生以上 | 11/12 | 6/10 |
| ウェルネスセミナー 誰よりも速く走ろう！(第1回) | 坂田 | 中学生 | 3/25 | /20 |

- (2) 受託・協働による高専講座：木更津高専テレワークセミナー（木更津市と協働 10月から11月）
 テーマ数は10件（16年度14件、15年度16件、14年度8件）であり、アインスピル内のテレワークセンターにて実施された。なお、事前打合せを10月11日（火）に行った。以下にセミナーの一覧を示す。大半が教員一人の講師であったが、数名のアシスタント学生が参加しているセミナーもあった。全募集人員は145名、全受講者数は65名（16年度募集人員193名、受講者数111名、15年度は募集人員266名、受講者数67名）であった。なお、終了後に受講者対象に行ったアンケートにおいて、満足度は92%であった。

| セミナーの名称 | 担当者 | 対象 | 開催日 | 受講定員 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| アジアの環境破壊を考える | 上村 | 中学生以上 | 10/16 | 4/18 |
| カイロプラクティックについて | 大藤 | 中学生以上 | 10/16 | 4/18 |
| ため池や小川の生き物～貝に卵を産む魚～ | 高橋(克) | 社会人 | 11/5 | 4/15 |
| レゴ® 作り(第1回) | 鈴木(聡) | 小・中学生 | 11/6 | 11/10 |
| パワーポイントでカレンダーを作ろう | 東 | 高校生以上 | 11/13 | 4/18 |
| レゴ® 作り(第2回) | 鈴木(聡) | 小・中学生 | 11/19 | 10/10 |
| 身近なものから学ぶ～電気～ | 高上 | 社会人 | 11/20 | 3/10 |
| かんたん年賀状づくり | 大枝 | 小学生以上 | 11/26 | 10/18 |
| かんたん！コンクリートづくり | 青木 | 小学生 | 11/27 | 9/10 |
| エクセルで簡単家計簿です！ | 米村 | 小学生以上 | 11/27 | 6/18 |

(3) 展示・実演講座

- ・今年度は学外からの展示・実演の申し込みは無かった。

(4) 支援講座：出前授業として、以下に示すように8件（16年度10件、15年度6件）の報告があった。対象となった中学校は昨年度と同数であった。

「万華鏡の製作」光の性質の講義および実験（高橋邦、小藤田、鈴木）

7月8日 木更津第一中学校において、1年生111名に対して「万華鏡の製作」を実施し、光の性質の講義及び演じ実験を行った。

（木更津第一中学校によるSPP研究者招聘講座） - 高橋邦夫

「ホバークラフトの製作」（小田・板垣）「一弦エレキターの製作」（飯田・大澤浅野・石川）

「コンクリートはなぜ固まるか」（青木）、3テーマ同時の物作り講座

7月16日 木更津第一中学校において、1年生111名に物作り講座を行った。

- (木更津第一中学校によるSPP研究者招聘講座)
「君にもできる光通信体験講座」(栗本・米村)
「紙コップ簡易光通信」を9月22日と「光送受信機の製作と通信実験」を9月29日の2日に亘って木更津第一中学校の3年生3クラス100名に対して、光通信を簡単に体験できるキットを用いて、物作り講座を実施した。光通信のキットは木更津高専の開発したものである。
- (木更津第一中学校によるSPP研究者招聘講座)
「ゲルマラジオの製作」(飯田・大澤・石川・石井・浅野・石川・立石・今村)
10月29日 木更津太田中学校1年生110名に対して、ゲルマラジオの製作を行った。
- (理数大好きプランによる研究者招聘講座)
「君にも作れる光通信」(栗本・大枝・鈴木聡)
10月31日 太田中学校3年 4クラス
- (理数大好きプランによる研究者招聘講座)
「君にも作れる光通信」(栗本・大枝・鈴木聡)
11月7日 木更津第二中学校3年 選択授業1クラス
- (理数大好きプランによる研究者招聘講座)
「身近な先端科学技術に関する講演」(栗本・高橋克)
12月19日 木更津太田中学校の全校生徒に対して、身近な先端技術について、最近の脳研究の紹介などを行った
- 木更津第三中学校の「地域ふれあい活動デー」における物作り講座(吉井・大澤・田村)
11月13日 木更津第三中学校のイベントで物作り講座を開き、以下の内容を実施した。
「自分の香りを作ろう」いくつかの香りを合成して自分のコロンを作る
「万華鏡の製作」

・点検評価：

無料のオープンセミナーのテーマ数が多いため、有料の公開講座は受講者が少ない。有料でも受講者が多くなるような講座内容となるよう検討が必要である。

テレワークセミナーは、前年度に比べて開講数および受講者が共に減少しているが、満足度については92%と良好な結果が得られた。

出前授業の件数はほぼ昨年と同程度であった。ただし、内容については昨年度よりも充実し、工夫されたものだった。

受講料が有料の公開講座と無料オープンセミナーに再編し、実施したが経費の赤字は昨年と同様であった。今後も継続して、赤字解消のための対策の検討が必要である。

6) 講演講師派遣事業

- (1) 第3回ビジネス交流会講演、技術振興交流会について、小平、9月28日(水)
- (2) 木更津市・野田市の異業種交流会、サブミリ波超伝導高感度受信機について、小平、12月8日(木)
- (3) 中小企業新連携推進県大会、新たな産学連携について、鈴木聡、11月21日(月)
- (4) ビジネスマッチングフォーラム、テクノセンターの活用について、大澤、3月6日(月)
- (5) おか粉を利用した新技術の研究事例(低反発な舗装の作製とその評価)
鬼塚, 岡本明子, 金井, 渡邊博満, 3月9日(木)

・点検評価：

講演派遣件数は昨年より1件減少した。

7) 広報事業

(1) メディア作成

2005年事業報告 (1,000部)

2005年ガイドブック (1,000部)

HPの更新(テクノセンターのページ)

テクノニュース第7号 (300部)

テクノニュース第8号 (300部)

(2) マルチメディア発信

記者クラブ(木更津市役所内)

房総ファミリア新聞

(3) 公的機関の広報紙発信

市役所の広報紙

商工会議所等の会報

・点検評価:

HPの更新において、各学科学系教員の協力が得られた。

テクノセンターの事業広報は、例年通り房総ファミリア新聞に依頼した。

テレワークセミナーについては木更津市広報紙に掲載されたが、他の事業も公的機関の広報紙に掲載できるよう検討する。

8) 審議委員等の派遣事業

(1) 千葉県産業振興センター東葛テクノプラザ: 東葛テクノ会、総会(小平、鈴木聡)6月8日(水)

(2) 木更津市異業種交流プラザ列会: アドバイザとして参加 8月を除く毎月の第二木曜日

(参加者教員: 小平、佐藤、仲川、林田、吉井、米村、岡本保、熊谷、小田、大澤、鬼塚)

(3) 千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議: 総会(小平)6月14日(火)

(4) 異業種融合化協議会: 第13回通常総会(小平)6月28日(火)

(5) 第1回木更津市地域IT推進会議:(鈴木聡)10・24(月)

(6) 第1回知っとこ隊打ち合わせ:(学生、鈴木聡)11月10(木)

(7) ポータルサイト立ち上げ実務打ち合わせ:(鈴木聡)11月14(月)

(8) 中小企業新連携推進県大会:(鈴木聡、大澤、仲川)11月21(月)

(9) 第2回知っとこ隊打ち合わせ:(学生、鈴木聡)11月30(水)

(10) 第3回木更津市地域IT推進会議:(鈴木聡)2月16(木)

(11) 県立上総博物館協議会:(小平)2月23(木)

・点検評価:

昨年度よりも2件増え、地域交流が広く、深くなるに従い派遣先は増加する。

9) 交流事業

(1) 訪問来校

木更津市役所企画調整室の高橋祐美子他2人、市との協働事業の依頼、数回

千葉県支援技術研究所(所長、木島)との業務協力について、小平、12月16日(金)

木更津市商工会議所青年部50周年事業協力依頼、小平、大澤、斉藤

東葛テクノプラザ(菊池)交流オフィス5階移動依頼、小平、斉藤、2月7日(火)

(2) 地域訪問(年度始め、年末、年始等の挨拶も含める)

木更津商工会議所、君津商工会議所

袖ヶ浦商工会、大佐和商工会、馬来田商工会、上総湊商工会、富津商工会
市原商工会議所

なお、9月28日(水)君津商工会議所工業部会の第3回ビジネス交流会(小平、鈴木聡、斉藤)に招待された。また、市原商工会議所とは2月14日(火)に産学官交流会議(小平、大澤)を開き情報交換を行った。

(3) 官との交流

木更津市役所：木更津市地域IT推進会議、鈴木聡

デジタルアーカイブ化事業、小平、鈴木聡、栗本、学生ボランティア

木更津市ポータルサイト、鈴木聡、学生ボランティア、

テレワークセミナー、小平、仲川、他多数

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議：小平、6月14日(火)

国立科学博物館の2005サイエンススクエアに協賛、実施、8月16日(火) - 28日(日)

内閣府等主催第5回産学官連携サミット：東京プリンスホテル、校長、11月14日(月)

電源地域雇用促進対策調査事業、県から協力依頼：小平、大澤、鈴木聡、斉藤、1月16日(月)

木更津商工会議所賀詞交歓会：木更津市民会館、校長、小平、1月6日(金)

木更津市商工会議所青年部モノづくり体験：小平、大澤、高橋邦、栗本、飯田、2月17日(金)

(4) 学との交流

木更津第一中学校によるSPP研究者招聘講座：高橋邦、小藤田、鈴木、7月8日(金)

小田・板垣、飯田・大澤浅野・石川、青木、7月15日(金)

栗本・米村9月22日(木)、29日(木)

理数大好きプランによる研究者招聘講座：

(木更津太田中学校)飯田・大澤・石川・石井・浅野・石川・立石・今村、10月29日(木)

栗本・大枝・鈴木聡、10月31日(月)

(木更津第二中学校)栗本・大枝・鈴木聡、11月7日(月)

城西国際大とのジョイントによるデジタルアーカイブ化事業：小平、鈴木聡、7月15(金)

千葉大学産官学フォーラム(5回/年)小平、9月23日(金)、1月18日(水)

全国高専テクノフォーラム(名古屋市)：国立高専機構主催豊田高専担当、小平、鈴木聡、原、斉藤、仲川、8月22日(月)、24日(水)

千葉大学オープンリサーチ2005、小平、9月23日(金)

全国テクノフォーラム担当地区打ち合わせ(長岡高専)大澤、1月20日(金)

佐世保高専派遣者長島、堀江教員の来校：大澤、斉藤3月7日(火)

・点検評価：

独立行政法人2年目にも拘らず、昨年度より交流件数が多少増加した。
情報の整理と活用法を検討する必要がある。

10) その他

(1) 知的財産に関する講習会：佐藤、斉藤、9月2日(金)

(2) 知的財産権制度説明会：千葉県自治会館、斎藤、仲川、10月3日(月)

(3) 中期計画の年度計画作成(テクノセンター運営委員会で審議)

- (4) 特許情報流通セミナー：千葉県支援技術研究所天台庁舎、小平、佐藤、12月5日(月)
- (5) 木更津市IT推進会議の要請を受けたポータルサイトが構築完了、鈴木聡、学生ボランティア
- (6) 平成17年度経済産業省検索エキスパート研修受講：浅野、3月13日(月) - 17日(金)
- (7) 東葛テクノプラザ交流オフィスが5階に移動統合、鈴木聡、3月27日(月)

・点検評価：

特許推進のアドバイザーであった神下教授が退官され、啓蒙活動できる後任も居ないが、知的財産に明るい人材を育成する努力が必要である。

東葛テクノプラザ交流オフィスへの対応を検討する必要がある。

3. 実現したい活動等

- 1) テクノセンター事業を推進・持続できるシステムの構築：地域連携や特許取得のための支援体制、技術支援センターの関係、設備等の地域への公開(テクノセンターラボ、電子顕微鏡室、X線室、実験実習センターの機械工場、ネットワーク情報センター)、規則の整備
- 2) テクノセンター運営資金を確保できる事業の検討：ちょっとした試作、設計、測定等のショップの開設、技術振興交流会との関係、高専を支援する会社の設立

・点検評価：

独立採算が可能な方向へ変革するための教職員の認識啓蒙が必要である。

地域連携や特許取得に関して、持続可能な支援システムの在り方を検討する必要がある。

運営委員会の実績

| | | | |
|-----|----------|-----|-----------|
| 第1回 | 4月19日(火) | 第4回 | 11月22日(火) |
| 第2回 | 6月30日(火) | 第5回 | 1月17日(火) |
| 第3回 | 9月6日(火) | 第6回 | 2月27日(月) |

なお、6月9日分科会委員長会議の終了後、合同で懇親会を行った。また、事務担当の仲川さんが1月1日付けで異動になったので、12月22日(木)味香色にて送別会を実施した。

・点検評価：

本運営委員会において、業務の役割分担を決めて、分業体制で作業を進めた。

会議の開始時間に遅れる委員が多く、時間を守った委員に迷惑を掛けた。

運営委員会委員と事務部担当

| | | |
|--------|---------------|---------------|
| センター長 | 小平眞次(電気電子工学科) | |
| 副センター長 | 大澤 寛(電気電子工学科) | 鈴木 聡(電子制御工学科) |
| | 佐藤恒明(環境都市工学科) | |
| センター委員 | 五十嵐譲介(人文学系) | 高橋邦夫(基礎学系) |
| | 板垣貴喜(機械工学科) | 大澤 寛(電気電子工学科) |
| | 鈴木 聡(電子制御工学科) | 東 雄二(情報工学科) |

高橋克夫(環境都市工学科) 五島正己(事務部長)

生涯学習担当 田村和士(基礎学系)

事務部

原 稔 庶務課長
大坪竹雄 庶務係長

斉藤 正 庶務課専門職員
仲川 強 庶務主任